京成本線実籾駅前が「みもみマルシェｗ/ビアガーデン」で笑顔溢れる空間に

7月10日、早朝の雨が止み、晴れ渡る空の下、第2回「みもみマルシェ」がビアガーデンと共に開催された。京成本線実籾駅北＆南ロータリーに雑貨から飲食まで27店舗が出店。子供から大人まで多くの来場者で賑わった。

主催したのは「実籾の町を盛り上げたい」という想いで結成された「みもみマルシェ実行委員会」。昨年駅前商店会の街灯を活用し写真展を開催。自粛中でもできる地域活性化を実施

したことでチームワークを強め、マルシェ開催に繋げた。

実行委員の一人である瀬戸口真弓さんは、2020年に実籾駅北口徒歩6分の場所にオープンしたE+PLACE ENGLISH＆CAFEという英会話スクール併設のカフェのオーナー兼英会話講師。子供から大人まで様々なレッスンを行っており、特に自身の苦い経験を活かし大人の英語コンプレックス解消をするための活動を広げている。当時本気で脱サラを考えていたご主人（現在平日サラリーマン、週末ボランティア店長）の自家焙煎珈琲も人気で、スクールスペースでは、音楽や健康など様々なイベントも開催。「カフェで人気の習志野ソーセージを炭焼きで販売。多くの方に喜んで頂けて嬉しかった！」と話す。

コロナ前は毎年開催されていた「実籾ふるさと祭り」などの大イベントに変わり、小さくても実籾の町を盛り上げたいと第1回目を5月に開催。想像以上の盛り上がりで手応えを感じ、奇数月の開催を決定。そして第2回目はビアガーデンも組み込んでグレードアップ。朝から夜まで賑わいを見せた。地元の来場者は「実籾が盛り上がって嬉しい！」と話し、他市から参加した出店者は「今日出会った実籾の人は皆さん凄く優しかった。次回も必ず参加したい」と話していた。手探りでスタートしたみもみマルシェ。今回の反省点を活かし、安心・安全な環境で今後も実籾を盛り上げていきたいとのこと。第3回は9月11日に決定。